

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大和電器本社ビル新築工事	階数	地上4F
建設地	東京都品川区	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年4月 予定	評価の実施日	2024年6月27日
敷地面積	288㎡	作成者	浦山 真吾
建築面積	215㎡	確認日	2024年8月13日
延床面積	751㎡	確認者	齋藤 俊彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし
Q1 室内環境	2.5% ≤ [昼光率] 照度が500lx以上1000lx未満。 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上。 外壁仕上げ材:押出成形セメント->30年。
LR1 エネルギー	BPI=0.55。 手動の開閉窓を使用している。 BEI=0.47。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGSとOAフロアを使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。
		LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用していない。 「光害対策ガイドライン」の全ての配慮事項を満たしている。また、「広告物照明の扱い」の項目の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される